

青木栄一 著作目録 (1996~2004年)

この著作目録は、青木が駿河台大学文化情報学部勤務するようになった1996(平成8)年より、2004(平成16)年3月の同大学退職を経て、2004年12月に至る期間に刊行された単行本、雑誌論文、書評、座談会・対談・シンポジウムの記録(印刷、雑誌掲載されたものに限る)、報告書などを含む。刊行年月の表示は、奥付の日付によった。1995年までの著作については、『学芸地理』(東京学芸大学地理学会)50号、4~35ページに掲載されている。

著作データの記載基準は下記の通りであるが、基本的には上記『学芸地理』掲載の目録に準じている。

掲載順序は、刊行年次順(暦年)とし、同一年次のなかでは一定の分類と順序ごとに、刊行月順に配列した。単行本は、刊行月、編著者名、書名、発行所、総ページ数(分担執筆の場合は、カッコ内に分担執筆章節名、該当ページなど)の順に表示した。雑誌論文等は、刊行月、論文名(書評の場合は、著者名、書名)、掲載誌名、巻号数(通巻表示では通巻番号を、巻号表示では第2巻第1号を2(1)のように記す)、発行学会名または出版社名、該当ページ、の順で示した。ただし、頻出する下記の雑誌は発行社(会)名を省略した(誌名は50音順)。

学芸地理(学芸地理学会)

交通新聞(交通新聞社)

産業考古学(産業考古学会)

JR gazette(交通新聞社)

社会経済史学(社会経済史学会)

新地理(日本地理教育学会)

駿河台大学NEWS(駿河台大学)

世界の艦船(海人社)

地図情報(地図情報センター)

地図ニュース(日本地図センター)

地理(古今書院)

地理学評論(日本地理学会)

鉄道ジャーナル(鉄道ジャーナル社)

鉄道ピクトリアル(電気車研究会)

日本ナショナルトラスト報(日本ナショナル
トラスト)

日本歴史(日本歴史学会)

文化情報学(駿河台大学文化情報学部)

歴史地理学(歴史地理学会)

1996年

編著・共編著

9月 野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜
編：『神奈川の鉄道 1872—1996』、日本経
済評論社、360p。(分担執筆；第2章3 砂
利を運ぶ鉄道、pp. 77-91, 第3章3 幹
線貨物輸送体制の整備、pp. 128-142, 第
4章2 郊外の都市化と高速電車化、pp.
169-179, 第6章3 東海道新幹線の開業、
pp. 273-284, 終章 神奈川の鉄道・その
未来像、pp. 339-347, コラム⑤湘南軌道、
p. 104, ⑦ポートトレインの時代、p. 153,
⑧箱根越えの機関車、p. 154, ⑩大山と大

雄山への参詣鉄道、p. 201, ⑮湘南電車—
その特徴と意義一、p. 246, ⑰神奈川の戦
後鉄道大事故、p. 296, 神奈川県の鉄道網
発達史年表、pp. 349-360).

辞典

12月 浮田典良・中村和郎・高橋伸夫監修：『日
本地名大百科 ランドジャポニカ』、小学
館、1327p。(分担執筆；コラム：[浦和
市] 市内に7つの「浦和」駅、p. 164, [関
門海峡] 歩いても渡れる海峡、p. 353, [渋
谷] 地下鉄が顔を出す地形、p. 568, [清
水峠] 鉄道の峠越え むかし・いま、p.
577, [隅田川] 隅田川に架かる橋、pp. 626

-627, [博多] なぜずれた? 駅名と市町村名, p. 921, [久屋大通] 道路の名前一外国と日本一, p. 965, [米原町] 鉄道の町と鉄道の避けた町, p. 1052), (資料: 鉄道路線一覧〈①JR北海道, ②JR東日本, ③JR東海, ④JR西日本, ⑤JR四国, ⑥JR九州, ⑦特定地方交通線転換の第三セクター鉄道, ⑧大手・準大手民鉄, ⑨おもな地方民鉄, ⑩JR貨物, ⑪大都市の地下鉄線, ⑫モノレール, 新交通システム〉 pp. 1233-1247, 高規格幹線道路一覧, pp. 1248-1249, 空港一覧, pp. 1250-1251).

論説・研究ノート

- 1月 日本の鉄道車両メーカーの系譜, 鉄道ピクトリアル, 616, pp. 10-21.
- 4月 戦後混乱期の沿革考, 鉄道ピクトリアル, 619, pp. 100-103.
- 6月 新京成電鉄の歩み—路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 622, pp. 17-23.
- 7月 私鉄の気動車—その発達の系譜—, 鉄道ジャーナル, 357, pp. 52-63. (鉄道ジャーナル157〈1980年3月〉 pp. 39-56の補訂版, ただしp. 61以降は新たに執筆した部分),
- 7月 名古屋鉄道のあゆみ [戦後編] —路線網の形成と地域開発, 鉄道ピクトリアル, 624, pp. 93-105.
- 8月 街づくりと鉄道, 鉄道ピクトリアル, 625, pp. 10-17.
- 9月 帆走フリゲイトの回顧(フリゲイト7話①), 世界の艦船, 514, pp. 78-81.
- 10月 海戦史に見る艦隊陣形の変化(艦隊陣形の歴史②), 世界の艦船, 515, pp. 78-85.
- 11月 技術面から見たイギリス巡洋艦の発達①船体, 世界の艦船, 517, pp. 176-181.
- 11月 鉄道ゲージの歴史地理学, 地理, 41(11), pp. 30-40.
- 11月 JR10年の軌跡⑧沿線開発—資産価値の高い遊休地の有効活用で都市再開発の中核を担う—, JR gazette, 54(11)・通号569, pp.

44-47.

月不詳 European Travellers in the Nineteenth Century Japan, The Influence on Tourism in Central Japan. (Le Tourisme e non Littoral dans les pays en voie développement, Colleege de Marrakech, 20-24 Octobre 1991, Commission de Géographie des Leisirs et de la Récréation, IGU., Lettreset des Sciences Humaines, Marrakech, Maroc, pp. 197-205.

(1994年10月刊とあるが, 実際の刊行年は1996年)

エッセイ

- 3月 東京学芸大学における21年間を顧みて, 学芸地理, 50, pp. 50-51.
- 9月19日 鉄道車両製造の100年(上), 交通新聞, 15785, p. 1.
- 9月20日 鉄道車両製造の100年(下), 交通新聞, 15786, p. 1.

資料

- 3月 青木栄一先生年譜, および, 青木栄一先生著作目録, 学芸地理, 50, pp. 2-35.

書評

- 1月 野田隆(文)・横溝英一(絵):『ドイツ=鉄道旅物語』, 鉄道ジャーナル, 351, p. 152.
- 2月 多摩の鉄道と都市形成史研究会編:『多摩—鉄道とまちづくりのあゆみ I・II』, 鉄道ジャーナル, 352, p. 140.
- 3月 生方良雄:『特殊鉄道とロープウェイ』, 鉄道ジャーナル, 353, p. 140.
- 3月 宮脇俊三:『昭和八年 渋谷驛』, 鉄道ジャーナル, 353, p. 140.
- 4月 中島啓雄:『現代の鉄道貨物輸送』, 鉄道ジャーナル, 354, p. 136.
- 4月 宮田道一:『東急電車物語』, 鉄道ジャーナル, 354, p. 136.
- 5月 吉川文夫編著:『路面電車時代』, 鉄道ジャーナル, 355, p. 140.
- 5月 佐々木富泰・網谷りょういち:『続・事故

- の鉄道史』, 鉄道ジャーナル, 355, p. 140.
- 5月 J. P. Delgado & C. J. Clifford: 『Great American Ships』, 世界の艦船, 510, p. 180.
- 6月 プライアン・ペレン (曾根悟監修・秋山芳弘・青木真美訳): 『フランスの高速鉄道TGVハンドブック』, 鉄道ジャーナル, 356, p. 140.
- 6月 斎藤晃: 『蒸気機関車の興亡』, 鉄道ジャーナル, 356, p. 140.
- 8月 三宅俊彦: 『時刻表百年のあゆみ』, 鉄道ジャーナル, 358, p. 140.
- 9月 小池滋: 『じょっぱり先生の鉄道旅行』, 鉄道ジャーナル, 359, p. 140.
- 9月 武知京三: 『近代日本と地域交通—伊勢電と大軌系(近鉄)資本の動向—』, 日本歴史, 580, pp. 121-123.
- 10月 藤本均: 『社史にみる私鉄企業の相似像』, 鉄道ジャーナル, 360, p. 152.
- 10月 白土貞夫: 『ちばの鉄道—世紀』, 鉄道ジャーナル, 360, p. 152.

文献解題

- 4月 鉄道図書30選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑'96 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 104-108.

写真を中心とした解説

- 4月 1950年代小湊鉄道の多彩な車両群, 鉄道ピクトリアル, 620, pp. 86-87.

対談・座談会

- 3月 今“鉄道”を語る, (小池滋, 斎藤峻彦, 竹島紀元, 藤井弥太郎と), 運輸と経済(運輸調査局), 56(3), pp. 4-15.

講演・シンポジウム記録

- 2月 産業遺産の保全と活用の世界の流れ (「産業遺産の保全と活用を考える」シンポジウム記念講演), 日本ナショナルトラスト報, 325, p. 6.

報告書

- 3月 「歴史を活かしたまちづくりシンポジウム産業遺産の保全と活用を考える報告書」,

(財)日本ナショナルトラスト, 38p. (分担記念講演「産業遺産の保全と活用の世界の流れ」, pp. 4-6).

紙 碑

- 4月 川上幸義さんを悼む, 鉄道ピクトリアル, 619, p. 118.

1997年

論説・研究ノート

- 1月 京成電鉄のあゆみ [戦後編]—路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 632, pp. 99-108.
- 2月 米駆逐艦フレッチャー級のすべて①登場の経緯と位置付け, 世界の艦船, 520, pp. 70-73.
- 7月 阪神電気鉄道のあゆみ [戦後編]—路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 640, pp. 77-85.
- 9月 日本の艦艇事故, 世界の艦船, 528, pp. 69-73.
- 10月 交通地理学を考える(1), 地理, 42(10), pp. 80-91.
- 11月 交通地理学を考える(2), 地理, 42(11), pp. 102-115.
- 11月 イギリス造艦メーカーの現況 (イギリス軍艦の戦後史), 世界の艦船, 531, pp. 112-115.
- 12月 アメリカ海軍の歩み (新版「アメリカ海軍〈昔と今〉」), 世界の艦船, 533, pp. 177-187.
- 12月 交通地理学を考える(3), 地理, 42(12), pp. 66-83.
- 12月 ポスト条約型巡洋艦の建造思想, 世界の艦船, 532, pp. 70-75.
- 12月 東武鉄道のあゆみ [戦後編]—その路線網の拡大と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 647, pp. 85-101.

短 報

- 11月 第10回産業遺産保存国際会議 (アテネ・テッサロニキ) に参加して (種田明, 庄谷邦幸と共同執筆), 産業考古学, 86, pp.

13-16. (分担執筆；報告⁽²⁾研究発表, pp. 13-14, 報告⁽³⁾エクスカッションのうち⁽⁵⁾, p. 16).

エッセイ

- 4月 土木史と地理学, 土木史フォーラム (土木学会土木史研究委員会監修・土木史フォーラム小委員会), 5, p. 2.
- 4月 南部鉄道 (鉄道史の興味・研究—今はなき私鉄を訪ねた日々), 鉄道ピクトリアル, 636, pp. 58-60.
- 11月7日 創業100年を迎えた東武鉄道⁽¹⁾ 1. 東武鉄道の創業と根津嘉一郎, 交通新聞, 16063, p. 1.
- 11月10日 創業100年を迎えた東武鉄道⁽²⁾ 2. 電化の完成と日光・鬼怒川の観光開発, 交通新聞, 16064, p. 3.
- 11月11日 創業100年を迎えた東武鉄道⁽³⁾ 3. 多彩な東武鉄道の車輛史, 交通新聞, 16065, p. 3.

書評

- 2月 沢和哉：『日本の鉄道ことはじめ』, 鉄道ジャーナル, 364, p. 152.
- 3月 石本祐吉：『鉄のほそ道—写真で綴る線路のはなし』, 鉄道ジャーナル, 365, p. 140.
- 3月 老川慶喜：『鉄道 (日本史小百科—近代)』, 鉄道ジャーナル, 365, p. 140.
- 3月 千葉県史料研究財団編：『千葉県の歴史別編 地誌1 (総論) (県史シリーズ36)』, 千葉県史研究 (千葉県史料研究財団), 5, pp. 79-82.
- 4月 村井一真：『万里の長龍鉄道』, 鉄道ジャーナル, 366, p. 140.
- 4月 種村直樹編・写真RGG：『国鉄・JR鉄道廃線カタログ (別冊歴史読本73)』, 鉄道ジャーナル, 366, p. 140.
- 5月 藤井信夫：『南海電気鉄道 上巻 (車輛発達史シリーズ5)』, 鉄道ジャーナル, 367, p. 136.
- 6月 けいてつ協会編著：『知られざる鉄道—リニアモーターカーからトロロッコまで200選』,

鉄道ジャーナル, 368, p. 140.

- 6月 和久田康雄：『やさしい鉄道の法規—JRと私鉄の実例』, 鉄道ジャーナル, 368, p. 140.
- 7月 田中正吾：『青函連絡船洞爺丸転覆の謎』, 鉄道ジャーナル, 369, p. 184.
- 8月 瀬戸線の90年刊行会編：『保存版・瀬戸線の90年—われらが「せとでん」激動のドラマ—』, 鉄道ジャーナル, 370, p. 140.
- 9月 沢柳健一・高砂雍郎編：『決定版・旧型国電車輛台帳』, 鉄道ジャーナル, 371, p. 140.
- 10月 林順信：『都電が走った町今昔—激変の東京定点对比30年』, および, 吉川文夫：『東京都電の時代』, 鉄道ジャーナル, 372, p. 136.
- 11月 高井薫平：『軽便追想』, 鉄道ジャーナル, 373, p. 144.
- 12月 原口隆行ほか：『イギリス=鉄道旅物語』, 鉄道ジャーナル, 374, p. 140.

文献解題

- 4月 鉄道図書30選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑'97 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 104-108.

写真を中心とした解説

- 1月 1950年代の千住大橋駅, 鉄道ピクトリアル, 632, p. 98.
- 4月 産業文化財が語りかける技術のあゆみ (PHASE'97 April), 安全 (中央労働災害防止協会), 48(4), pp. 1-3.
- 12月 前橋線最後の日, 鉄道ピクトリアル, 647, p. 157.

紙碑

- 2月 太田勇君を偲んで, 『地理学への情熱—太田勇追悼文集—』, 太田陽子 (私家版), pp. 120-121.
- 3月 大槻貞一さんを偲んで, 『想い出 大槻貞一』, 大槻榮子 (私家版), pp. 1-3.

その他

- 2月 金坂清則：イザベラ・バードとその意義

(1996年度大会特別研究発表・座長所見),
人文地理 (人文地理学会), 49(1), pp. 76-
78.

1998年

監修

5月 『マルチメディア鉄道図鑑』(南正時・諸河久〈写真〉), アスキー出版局 (CD-ROM & BOOK)

論説・研究ノート

- 1月 歴史地理学の傾向と動向—掲載論文にみる歴史地理学会の40年—, 歴史地理学, 40(1) (通号187), pp. 19-27.
- 2月 鉄道史研究における地方史的アプローチの系譜, 明大商学論叢(明治大学商学研究所), 80—1・2 (石井常雄教授古希記念号), pp. 1-19.
- 4月 大井川を渡った軽便鉄道—静岡鉄道駿遠線の成立ち, 鉄道ピクトリアル, 652, pp. 62-65.
- 5月 海上保安庁50年の歩み, 世界の艦船, 538, pp. 86-89.
- 7月 京浜急行電鉄のあゆみ [戦後編]—路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 656, pp. 100-112.
- 9月 戦後ドイツ海軍の歩み, 世界の艦船, 542, pp. 69-73.
- 10月 トンネルの歴史地理学, 地理, 43(10), pp. 23-32.
- 11月 日本の石灰石・セメントと鉄道, 鉄道ピクトリアル, 661, pp. 10-18.
- 11月 鉄道地図の表現, 地図ニュース, 314, pp. 7-10.
- 12月 フランス巡洋艦の作戦史, 世界の艦船, 546, pp. 152-157.
- 12月 阪急電鉄のあゆみ [戦後編]—路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 663, pp. 96-103.

短報

6月 解体された元巡視船「こじま」, 東京産業考古学会 (東京産業考古学会), 14, pp. 4

-7.

エッセイ

- 11月 海外子女教育と地域研究, 『新世紀を開く教育研究—海外子女教育センター創立20周年記念誌—』(東京学芸大学海外子女教育センター), p. 31.
- 11月 複々線化事業を考える, 月刊小田急 (小田急電鉄社内報), 582, pp. 12-13.

書評

- 1月 宮脇俊三編著: 『鉄道廃線跡を歩くⅢ』, 鉄道ジャーナル, 375, p. 151.
- 2月 網谷りょういち: 『信楽高原鉄道事故』, 鉄道ジャーナル, 376, p. 139.
- 2月 いのうえ・こーいち編著: 『追憶の軽便鉄道 井笠鉄道』, 鉄道ジャーナル, 376, p. 139.
- 3月 宮脇俊三: 『駅は見ている』, 鉄道ジャーナル, 377, p. 139.
- 4月 中島廣・山田俊英: 『韓国の鉄道—100年を迎える隣国の鉄道大百科—』, 鉄道ジャーナル, 378, p. 135.
- 5月 鉄道友の会編: 『高田隆雄写真集 追憶の汽車電車』, 鉄道ジャーナル, 379, p. 139.
- 6月 塚本和也: 『高原のポニーC56—塚本和也写真集—』, 鉄道ジャーナル, 380, p. 139.
- 7月 Bernard Ireland & Eric Grove: 『Jane's War at Sea, 100 Years of Jane's Fighting Ships』, 世界の艦船, 540, pp. 110-111.
- 8月 長谷川弘和: 『横浜市電の時代』, 鉄道ジャーナル, 382, p. 139.
- 8月 宮脇俊三 (編)・原口隆行 (企画・執筆): 『時刻表でたどる鉄道史』, 鉄道ジャーナル, 382, p. 139.
- 9月 葦書房編集部: 『噴火と闘った島原鉄道』, 鉄道ジャーナル, 383, p. 139.
- 9月 吉田恭一: 『地形図で迎える廃線路—古地図とともに今はなき鉄道を歩く—』, 地図情報, 18(2) (通巻67), p. 31.
- 10月 沢和哉: 『日本の鉄道こぼれ話』, 鉄道

- ジャーナル, 384, p. 139.
- 10月 山之内秀一郎:『鉄道と情報システム』, 鉄道ジャーナル, 384, p. 139.
- 11月 諸河久・吉川文夫:『総天然色のタイムマシーン—フルカラーでよみがえる地方私鉄の黄金時代』, 鉄道ジャーナル, 385, p. 135.
- 11月 原武史:『「民都」大阪対「帝都」東京—思想としての関西私鉄』, 鉄道ジャーナル, 385, p. 135.
- 12月 田中真人・宇田正・西藤二郎:『京都滋賀鉄道の歴史』, 文化情報学, 5(2), pp. 43-47.
- 文献解題**
- 4月 鉄道図書30選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑'98 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 104-108.
- 11月 石渡幸二:『あの船この船—回想の船影を追って—』, 中公文庫 (中央公論社), 同書, pp. 285-291.
- 講演・シンポジウム記録**
- 9月 近代日本の地理思想とその変容, 日本地理学会発表要旨集 (北海道大学), 54, pp. 4-5.
- 報告書**
- 3月 『分割民営化に至る国鉄の経営問題に関する調査研究報告書』, 運輸経済研究センター, (分担執筆; 第6章 ローカル線の整理, 20p, 第9章 鉄道連絡航路, 17p, 第12章 日本の国鉄と世界の鉄道, 9p).
- その他**
- 7月 鉄道敷設における地元の「認識」と「実際」—加藤要一氏の論文へのコメント, 社会経済史学, 64(2), pp. 81-83.
- 1999年 ■
- 論説・研究ノート**
- 4月 地理学からみた「廃線」の背景, 旅 (日本交通公社), 73(4) (通号867), pp. 90-94.
- 6月 第二次世界大戦後における日本の大都市住宅団地の発達と交通 (張秀強訳, 二戦后日
本大都市住宅区的発展と交通), 『'98長春中日城市問題国際学術研究会論文集1998. 12. 13-12. 16』 (同編輯委員会編), pp. 205-218.
- 6月 鉄道文化財の意義を考える, JR gazette, 57(6) (通号600), pp. 56-59.
- 6月 巡洋戦艦—その誕生から終焉まで—, 世界の艦船, 553, pp. 70-77.
- 6月 ビーティーとヒッパー—英独巡洋戦艦部隊指揮官の横顔, 世界の艦船, 553, pp. 98-99.
- 7月 相模鉄道のあゆみ [戦後編] —その路線網の形成と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 672, pp. 81-89.
- 7月 ナチス・ドイツのミニ潜水艦, 世界の艦船, 555, pp. 120-121.
- 9月 日本歴史地理學의 傾向과 變化—掲載論文으로 본 歴史地理學會40年— (李鎔一訳), 文化歴史地理 (文化歴史地理学会〈大韓民国〉), 11, pp. 201-209. (1998年1月, 歴史地理学, 40(1)の韓国語訳)
- 9月 海峡を渡る交通路—関門海峡における橋とトンネル—, 地図情報, 19(2) (通巻71), pp. 18-21.
- 10月 鉄道駅の歴史地理学—駅の立地と機能の変容に関するノート—, 地理, 44(10), pp. 16-24.
- 11月 現代日本の鉄道博物館—歴史・現状・将来—, 鉄道ピクトリアル, 677, pp. 10-15.
- 12月 小田急電鉄のあゆみ [戦後編] —路線網の変遷と地域開発—, 鉄道ピクトリアル, 679, pp. 93-105.
- 短報**
- 9月 瀬戸内で第2の人生を送る元海上保安庁巡視船「こじま」, 世界の艦船, 557, p. 110.
- エッセイ**
- 4月 宮脇さんと海外鉄道紀行, 宮脇俊三鉄道紀行全集 第5巻 月報 (角川書店), 5, pp. 3-4.
- 9月 まちづくりと中量交通機関, ひたち (日立

評論社), 61(5), pp. 2-3.

12月 鉄道プリペイドカードに描かれた地図, 地図ニュース, 327, pp. 11-14.

写真を中心とした論説

7月 第1部 Uボートの復活(ナチスUボート), 世界の艦船, 555, pp. 7-20.

7月 第2部 大西洋の戦いの主役たち(ナチスUボート), 世界の艦船, 555, pp. 21-54.

7月 第3部 戦線を支えた脇役たち—燃料補給/輸送/機雷敷設用Uボート(ナチスUボート), 世界の艦船, 555, pp. 55-62.

7月 第4部 水中高速潜水艦への途(ナチスUボート), 世界の艦船, 555, pp. 63-78.

7月 〈付〉外国からの取得艦(ナチスUボート), 世界の艦船, 555, pp. 79-87.

書評

1月 斎藤晃:『蒸気機関車の挑戦』, 鉄道ジャーナル, 387, p. 154.

2月 長真弓:『オーストリア=鉄道旅物語』, 鉄道ジャーナル, 388, p. 143.

3月 中村尚史:『日本鉄道業の形成 1869~1894年』, 鉄道ジャーナル, 389, p. 142.

3月 Harald Fock:『Z-vor! -Internationale Entwicklung und Kriegseinsätze von Zerstörern und Torpedobooten in Zweiten Weltkrieg, 1940-1945』, 世界の艦船, 549, p. 156.

5月 石野哲・水谷昌義・高山拓志・浅野明彦:『停車場変遷大事典 国鉄・JR編 I/II』, 鉄道ジャーナル, 391, p. 142.

7月 川島令三:『鉄道はクルマに勝てるのか』, 鉄道ジャーナル, 393, p. 154.

8月 白川淳:『全国保存鉄道Ⅲ(東日本編), IV(西日本編)』, 鉄道ジャーナル, 394, p. 142.

9月 田中真人・宇田正・西藤二郎:『京都滋賀鉄道の歴史』, 鉄道ジャーナル, 395, p. 142.

9月 石野哲・水谷昌義・高山拓志・浅野明彦:『停車場変遷大事典 国鉄・JR編 I/II』,

歴史地理学, 41(4)(通号195), pp. 35-38.

9月 中村尚史:『日本鉄道業の形成—1869~1894年』, 社会経済史学, 65(3), pp. 96-98(348-350).

10月 江本廣一:『都電車輛総覧』, 鉄道ジャーナル, 396, p. 137.

11月 和久田康雄:『路面電車—ライトレールをめざして—』, および, 谷川一巳・西村慶明・水野良太郎:『路面電車の基礎知識』, 鉄道ジャーナル, 397, p. 147.

11月 野村實:『日本海海戦の真実』, 世界の艦船, 560, pp. 114-115.

12月 岡田誠一:『キハ41000とその一族 上/下』, 鉄道ジャーナル, 398, p. 142.

文献解題

4月 鉄道図書30選(吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑'99 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 104-108.

対談・座談会

12月 座談会(三人閑談)「鉄道ファンは永遠に」(藤井弥太郎, 岩沙克次と), 三田評論(慶應義塾), 1019, pp. 76-87.

講演・シンポジウム記録

11月 日本の鉄道と地域社会(「教育情報衛星通信ネットワークを利用した大学公開講座」・駿河台大学), 高等教育情報化推進協議会, 38p.

学会での発表記録

11月 三井三池炭鉱専用鉄道電気機関車の産業考古学的意義(堤一郎, 大島登志彦と), 産業考古学会1999年度全国大会(竜ヶ崎)研究発表講演論文集(産業考古学会), pp. 29-32.

その他

6月 鉄道旅行検定試験はじまる, 地理, 44(6), pp. 75-80.

8月 はがき通信, 日本歴史, 615, p. 143.

12月 シラバス紹介「産業考古学」(駿河台大学文化情報学部1999年度シラバス), 産業考古学, 94, p. 22.

2000年

単 著

12月 『시과위의世界史②』(崔在洙訳). 韓国海
事問題研究所, 304p. 〈1983年11月『シー
パワーの世界史②』の韓国語訳〉.

共 著

3月 『A History of Japanese Railways, 1872-
1999』, (今城光英, 加藤新一, 和久田康雄
と共著, 東日本鉄道文化財団発行・交通新
聞社発売, 256p.), (分担執筆; Chapter 1
Dawn of Japanese Railways, pp. 5-14, ch.
2 Expansion of Railway Network, pp. 15
-28, ch. 3 Transition from Imported to
Domestic Technology, pp. 29-38, ch. 5 De-
velopment of Light Railway Policy, pp. 45
-50, ch. 9 Rural Railway Construction by
Government Railways, pp. 99-108, ch. 15
Decrease in Rail Freight, pp. 171-180, Ap-
pendix: Development of Railway Network
in Japan, pp. 216-219, Growth of Railway
Network in Tokyo and Kansai, pp. 220-
221, Genealogy of Japanese Steam Loco-
motives, pp. 222-223, Biographies of Im-
portant People in Japan Railway History:
Edmund Morel, p. 13, Masaru Inoue, p. 17,
Richard Francis Trevithick & Francis
Henry Trevithick, p. 35, Yoshio Kinoshita,
p. 101).

分担執筆

4月 『日本地理学会75周年史特集号』, 地理学評
論, 73(4), pp. 275-276. (分担執筆; 「日
本地理教育学会」(Ⅱ戦後復興と地理学の
展開, 3. 関連学会の創設と発展, 9)).
7月 運輸政策研究機構編: 『日本国有鉄道民営
化に至る15年』, 成山堂書店, 486p. (分
担執筆; 第6章 ローカル線の整理, pp.
182-200, 第9章 鉄道連絡航路, pp. 260
-275, 第12章 日本の国鉄と世界の鉄道,
pp. 302-310), 〈1998年3月刊, 運輸経済
研究センター報告書「分割民営化に至る国

鉄の経営問題に関する報告書」の公刊〉

11月 前田清志・玉川寛治編: 『日本の産業遺産
Ⅱ 産業考古学研究』, 玉川大学出版部,
495p. (分担執筆; 第4章 交通1 戦後
日本における船の保存, pp. 224-247),

論説・研究ノート

1月 イタリア巡洋艦の作戦史, 世界の艦船,
563, pp. 156-161.
2月 多摩の「まぼろしの鉄道」, 多摩のあゆみ,
97, pp. 8-17.
3月 快適性からみた大都市鉄道車両の発達, 社
会科学論集(埼玉大学経済学会), 99・100
合併号, pp. 1-18.
3月 データベース化が進むナチスUボート情報,
世界の艦船, 565, pp. 108-110.
4月 アメリカ潜水艦艦名考, 世界の艦船, 567,
pp. 182-183.
7月 第2次大戦後のイタリア戦艦 敗戦後の運
命, 世界の艦船, 570, pp. 164-167.
7月 A Historical Sketch of Ship Preservation
as Maritime Heritage in Japan. in, Mari-
time Technologies, TICCIH, 10th Interna-
tional Conferance, Transactions-June
1997, (Christine Agriatoni ed.), TICCIH
Greak Section, pp. 127-130.
7月 カリフォルニア州のライトレール事情, 鉄
道ピクトリアル, 688, pp. 55-66.
9月 鉄道車両工場の系譜, 鉄道ピクトリアル,
690, pp. 10-20.
9月 オスマン・トルコ帝国—そのシーパワーの
盛衰—, 世界の艦船, 573, pp. 71-75.
9月 都市地理学の系譜と展望, 都市問題研究
(都市問題研究会), 52(9) (通巻597), pp.
96-107.
11月 地理的思考のすすめ—交通, 地理月報(二
宮書店), 459, pp. 1-3.
11月 ANZAC海軍史を彩ったふねぶね, 世界の
艦船, 575, pp. 88-93.
12月 20世紀のシーパワーを顧みる—艦船の進化
を基盤に—, 世界の艦船, 576, pp. 69-75.

短 報

- 7月 保存とは名ばかり 陸に上がった元巡視船「ろっこう」の現状, 世界の艦船, 570, p. 96.
- 12月 ウェールズ・ツアー (国際産業遺産保存会議TICCIH 2000), 産業考古学, 98, pp. 12-15.

エッセイ

- 2月 鉄道忌避伝説を見直す (歴史手帖), 日本歴史, 621, pp. 34-35.
- 3月 日本地理教育学会と私, 新地理, 47 (3・4) (50周年記念号), pp. 20-22.
- 10月 「産業考古学」を講義する, 菩提樹 (駿河台大学父母会会報), 25, pp. 56-57.

書 評

- 2月 斎藤雅男:『舊進—鉄道とともに50年から—』, 鉄道ジャーナル, 400, p. 186.
- 3月 日本機会学会編:『高速鉄道物語—その技術を追う—』, 鉄道ジャーナル, 401, p. 138.
- 4月 花上嘉成:『山梨交通鉄道線回想録』, 鉄道ジャーナル, 402, p. 138.
- 6月 宮脇俊三編著:『鉄道配線跡を歩くⅦ』, 鉄道ジャーナル, 404, p. 142.
- 7月 今尾恵介:『地形図でたどる鉄道史東日本編』, 鉄道ジャーナル, 405, p. 154.
- 9月 日本地下鉄協会編:『世界の地下鉄—115都市の最新情報—』, 鉄道ジャーナル, 407, p. 142.
- 9月 三木理史:『地域交通体系と局地鉄道—その史的展開—』, 社会経済史学, 66(3), pp. 92-93.
- 10月 高橋団吉:『新幹線をつくった男 鳥秀雄物語』, 鉄道ジャーナル, 408, p. 138.
- 11月 堀雅通:『現代欧州の交通政策と鉄道改革—上下分離とオープンアクセス—』, 鉄道ジャーナル, 409, p. 138.
- 11月 須田寛:『東海道新幹線—写真・時刻表で見る新幹線の昨日・今日・明日—』, 鉄道ジャーナル, 409, p. 138.

- 12月 河原匡喜:『連合軍専用列車の時代—占領下の鉄道史探索—』, 鉄道ジャーナル, 410, p. 142.

文献解題

- 5月 鉄道図書30選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑2000 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 104-108.

講演・シンポジウム記録

- 2月 鉄道高速化と私鉄電車発達の歴史, シンポジウム「日本の技術をみる眼」第18回「新幹線0系と名鉄パノラマカー—東海地方を駆け抜けた高速電車・高性能電車—」講演報告資料集, 中部産業遺産研究会, pp. 1-15.

報告書

- 3月 榎根勇編:『日本における地理学の現状と21世紀への展望』, (平成11年度文部省科研費(基盤研究C)研究成果報告書11898004, 187p. (分担執筆; 第16章 交通地理学—地域社会の視点に立つ近代交通の分析を中心として—, pp. 137-145).

2001年

編著・共編著

- 4月 日本ナショナルトラスト監修, 青木栄一・小野田滋・後藤治・堤一郎・中島久男・馬場俊介・堀勇良編:『日本近代化遺産を歩く—産業・土木・建築・機械, 近代を語る証人たち—』, JTB (JTBキャンブックス), 163p. (分担執筆; みちのく北方漁船博物館—沿岸用木造漁船を収蔵する日本最大の漁船博物館—, pp. 18-19, コラム, 急勾配に挑む鉄道, p. 44).

分担執筆

- 4月 『懐かしの沼尻軽便鉄道』編集委員会編:『写真でつづる続・懐かしの沼尻軽便鉄道—思い出の学び舎と沿線の記録—』, 『懐かしの沼尻軽便鉄道』刊行委員会刊・歴史春秋出版発売, 226p. (分担執筆; 日本硫黄沼尻鉄道線の歴史とその車両, pp. 57-77).

論説・研究ノート

- 1月 日本の鉄道車両—その技術の輸入と輸出—, 鉄道ピクトリアル, 696, pp. 10-20.
- 5月 アメリカ, カリフォルニア州の最近鉄道事情, PENDELZUG (海外鉄道研究会), 40, pp. 3-7.
- 7月 鉄道の20世紀を考える, 鉄道ピクトリアル, 703, pp. 10-17.
- 7月 鉄道趣味のあゆみ—『鉄道ピクトリアル』の半世紀とともに—, 鉄道ピクトリアル, 703, pp. 131-155.
- 11月 オホーツク海沿岸地域の鉄道網のあゆみ, 『新ドキュメント列車追跡3 国鉄1974~1979』, 鉄道ジャーナル社, pp. 11-16. (1979年3月, 鉄道ジャーナル145より再録),
- 12月 鉄道忌避伝説に対する疑問—補論, 文化情報学, 8(2), pp. 35-44.

エッセイ

- 8月 中国の市街地図雑感, 地図情報, 21(1・2) (通巻78), p. 36.

書評

- 1月 鉄道探検隊 (隊長=吉川文夫) 編:『鉄道風景懐古(I)~(III)』, 鉄道ジャーナル, 411, p. 154.
- 1月 三木理史:『近代日本の地域交通体系』, および, 三木理史:『地域交通体系と局地鉄道—その史的展開—』, 地理学評論, 74(1), pp. 55-59.
- 2月 瀬古龍雄:『B6回顧録 (RM Library16・17)』, 鉄道ジャーナル, 412, p. 138.
- 3月 近藤一郎:『クラウドの機関車追録』, 鉄道ジャーナル, 413, p. 138.
- 3月 原武史:『大正天皇』, 鉄道ジャーナル, 413, p. 138.
- 4月 川島令三:『徹底チェックJR特急車両—JRはどんな車両をつくってきたか—』, 鉄道ジャーナル, 414, p. 138.
- 5月 Arnold Hague:『The Allied Convoy System 1939-1945, Its Organization, De-

fence and Operation』, 世界の艦船, 582, p. 102.

- 7月 名取紀之:『森製作所の機関車たち』, 鉄道ジャーナル, 417, p. 150.
- 8月 田中和夫:『北海道の鉄道』, 鉄道ジャーナル, 418, p. 138.
- 9月 赤門鉄路クラブ編:『鉄道を読んで楽しむ本』, 鉄道ジャーナル, 419, p. 142.
- 9月 石井實:『写真集 東京—都市の変貌の物語 1948—2000—』, 新地理, 49(2), pp. 40-42.
- 10月 角本良平:『JRは2020年に存在するか』, 鉄道ジャーナル, 420, p. 138.
- 11月 後藤文男:『西武の赤い電機』, 鉄道ジャーナル, 421, p. 142.
- 12月 原田勝正:『日本鉄道史—技術と人間—』, 鉄道ジャーナル, 422, p. 142.
- 12月 笹田昌宏/岸由一郎:『全国トロッコ列車—ファミリーで楽しむ愉快的なレイルウェイたち—』, 鉄道ジャーナル, 422, p. 142.
- 12月 福原正弘:『甦れニュータウン—交流による再生を求めて—』, 新地理, 49(3), pp. 56-57.

文献解題

- 2月 『鉄の棺』, 「第二次大戦におけるドイツの潜水艦」, 「Uボートエース列伝」, および, 本文注記, 『鉄の棺—Uボート死闘の記録—』 (ヘルベルト・A・ヴェルナー著, 鈴木主税訳), 中央公論新社, 索引・付録, pp. 12-49.
- 4月 鉄道図書20選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑2001 日本の鉄道』 (鉄道ジャーナル別冊), 鉄道ジャーナル社, pp. 119-123.
- 4月 『呪われた海』, 「ドイツ海軍の組織について」, 「ドイツ海軍名将列伝」, および, 本文注記, 『呪われた海—ドイツ海軍戦闘記録—』 (カーユス・ベッカー著, 松谷健二訳), 中央公論新社, 付録II, pp. 534-541, 解題他, pp. 22-31.

8月 『ギンター・プリーン自伝』, および, 本文注記. 『スカパ・フローへの道—ギンター・プリーン回想録—』, (ギンター・プリーン著, 濱野修訳), 中央公論新社, pp. 315-332.

講演・シンポジウム記録

12月 The Preservation of Railway Heritage in Japan: An Outline History and General View, Slow Train Coming: Heritage Railways in the 21st Century, Joint Conference held at the National Railway Museum, 20th-23rd September 2001. The Institute of Railway Studies and the Heritage Railway Association, 24 (1-7),

学会での発表記録

10月 産業遺産の保存と継承に必要な技術と技能の役割—ある保存鉄道の事例から— (堤一郎と), 産業考古学会2001度全国大会 (山形) 研究発表講演論文集, pp. 54-57.

その他

1月 21世紀のJRへのコメント, JR gazette, 59 (1) (通巻619), p. 13.

2002年

辞典

11月 浮田典良編: 『最新地理学用語辞典』, 大明堂, 288p. (分担執筆; 計36項目).

論説・研究ノート

3月 鉄道と港—港湾をめぐる鉄道の役割とその変化—, 鉄道ピクトリアル, 714, pp. 10-21.

3月 The Preservation of Railway Heritage in Japan: An Outline History and General View, Japan Railway & Transport Review (East Japan Railway Culture Foundation), 30, pp. 16-19.

3月 新技術がもたらした海戦の変化, 世界の艦船, 593, pp. 69-75.

6月 3フィート6インチ・ゲージ採用についてのノート, 文化情報学, 9(1), pp. 29-39.

6月 路面電車の復権—LRTの発達とその現状

—, 地理, 47(6), pp. 55-63.

7月 MEKO型フリゲイトの生みの親 ブローム・ウント・フォス造船所, 世界の艦船, 598, pp. 80-83.

8月 大都市の環状鉄道—その形成と特徴—, 鉄道ピクトリアル, 720, pp. 10-19.

9月 ドイツ巡洋艦作戦史, 世界の艦船, 601, pp. 154-161.

9月 近代化遺産を地理教材に—近代化遺産を素材にこう切り拓く—, 『地理が切り拓く「総合的な学習」』 (寺本潔・田部俊充・大西宏治編), 地理, 565 (9月増刊), pp. 36-39.

9月 近代化遺産としての保存船—その歴史・現状と課題, ラメール (日本海事広報協会), 27(5), pp. 42-45.

12月 日本の鉄道車両工場—その歴史的考察—, 鉄道ジャーナル, 434, pp. 66-74.

短報

7月 「鈍行列車がやってくる」 SLOW TRAIN COMING—21世紀の保存鉄道を考える国際会議の報告—, 鉄道ピクトリアル, 719, pp. 108-110.

エッセイ

4月 蜀の国と嘉陵江, そして張飛のこと, TCT旅ニュース (二十一世紀旅行), 29, p. 12.

12月 空港アクセス鉄道の黎明期を顧みて, ていくおふ (全日本空輸), 100, p. 68.

書評

1月 白土貞夫: 『岬へ行く電車—銚子電気鉄道77年のあゆみ—』, 鉄道ジャーナル, 423, p. 154.

1月 西裕之: 『全国森林鉄道』, および, 岡本憲之: 『全国鉱山鉄道』, 鉄道ジャーナル, 423, p. 154.

2月 小池滋: 『「坊ちゃん」はなぜ市電の技術者になったか—日本文学の中の鉄道をめぐる8つの謎—』, 鉄道ジャーナル, 424, p. 138.

3月 森口誠之: 『鉄道未成線を歩く 私鉄編』,

鉄道ジャーナル, 425, p. 138.

3月 西村幸格・服部重敬：『都市と路面公共交通—欧米にみる交通政策と施設—』, 新地理, 49(4), pp. 41-46.

4月 渡辺一策：『国鉄冷蔵車の歴史 上/下』, 鉄道ジャーナル, 426, p. 138.

5月 和久田康雄：『私鉄史探訪60年』, 鉄道ジャーナル, 427, p. 138.

6月 西尾恵介：『所沢車輛工場ものがたり 上/下』, 鉄道ジャーナル, 428, p. 138.

6月 原田勝正：『日本鉄道史—技術と人間—』, 歴史地理学, 44(3) (通号209), pp. 39-41.

7月 吉川文夫・塚本雅啓：『なつかしの路面電車 視録』, 鉄道ジャーナル, 429, p. 154.

7月 奈良崎博保：『福岡・北九州市内電車が走った町今昔—西鉄の路面電車・定点对比—』, 鉄道ジャーナル, 429, p. 154.

7月 フォス美弥子編訳：『海国日本の夜明け—オランダ海軍ファビウス駐留日誌—』, 日本歴史, 650, pp. 114-117.

8月 路面電車ハンドブック編集委員会編：『日本路面電車ハンドブック2001版』, 鉄道ジャーナル, 430, p. 138.

10月 吉川文夫：『東海道線130年の歩み』, 鉄道ジャーナル, 432, p. 138.

11月 藤井信夫：『阪神電気鉄道 (車両発達史シリーズ7)』, 鉄道ジャーナル, 433, p. 138.

12月 佐藤信之：『鉄道好きの知的生産術—自分の「鉄道」探求の成果をどう発信するか—』, 鉄道ジャーナル, 434, p. 138.

文献解題

4月 鉄道図書20選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆), 『年鑑2002 日本の鉄道』 (鉄道ジャーナル別冊), 鉄道ジャーナル社, pp. 119-123.

写真を中心とした解説

4月 西武鉄道武蔵野線—1954年, 鉄道ピクトリアル, 716, p. 96.

対談・座談会

5月 トラストトレイン15周年に思う, (小池滋, 松沢正二, 増田浩三, 米山淳一と), 日本ナショナルトラスト報, 394, pp. 2-5.

講演・シンポジウム記録

3月 近代多摩の交通軸—甲州街道から甲武鉄道, 中央線へ—, 『文化財保護の方策とその課題』 (平成13年度文化財セミナー報告書), 東京都立多摩社会教育会館, pp. 46-54.

2003年

分担執筆

7月 プレス・アイゼンバーン編：『臼井茂信作品集 北海道編 狩勝紀行』, プレス・アイゼンバーン, 144p. (分担執筆; 臼井茂信の鉄道史研究とその軌跡—著作目録にそえて—, pp. 132-134, 臼井茂信著作目録, pp. 136-142, 臼井茂信年譜, p. 144), 〈1995年11月, 『軌跡—臼井茂信の鉄道史研究60年—』, 臼井茂信さんを偲ぶ会編・刊より補訂の上転載〉.

論説・研究ノート

11月 民営貨物鉄道の役割と意義, 鉄道ピクトリアル, 739, pp. 10-20.

短報

9月 第12回TICCIH大会に参加して—ウラル地方の地形と製鉄業の立地—, 産業考古学, 109, pp. 23-25.

紀行

5月 中国 西康線の旅, 鉄道ジャーナル, 439, pp. 112-117.

エッセイ

10月 輸送力増大, 暮らしを支える高性能な足へ—昭和30年代~40年代— (相鉄の車両メモリー3), 相鉄瓦版 (相模鉄道), 122, pp. 23-32.

10月 今に雄姿を伝える神中3号機, 相鉄瓦版 (相模鉄道), 122, pp. 42-45.

12月12日 千変万化 (美貌の皇后との対面), 駿河台大学NEWS, 89, p. 1.

書評

1月 佐竹保雄・佐竹晃 (写真)・吉川文夫 (解

- 説)：『私鉄買取国電』，鉄道ジャーナル，435，p. 154.
- 1月 時刻表OB会編：『時刻表舞台裏の職人たち』，鉄道ジャーナル，435，p. 154.
- 2月 三宅俊彦・寺本光照：『国鉄・JR臨時列車ハンドブック』，鉄道ジャーナル，436，p. 142.
- 2月 高橋敏昭：『アジアの鉄道おもしろ事情』，鉄道ジャーナル，436，p. 142.
- 3月 岡雅行・山田俊明編：『ゲージの鉄道学』，鉄道ジャーナル，437，p. 142.
- 3月 藤田佳久：『東亜同文書院 中国大調査旅行の研究』，歴史地理学，45(2) (通号213)，pp. 52-53.
- 4月 坂上茂樹：『船用蒸気タービン百年の航跡—現代技術史の基本構造と日本技術のアイデンティティ—』，世界の艦船，609，p. 113.
- 4月 東京都写真美術館編：『永遠の蒸気機関車くろがねの勇者たち』，鉄道ジャーナル，438，p. 138.
- 5月 佐々木義郎編著：『琵琶湖の鉄道連絡船と郵便通送』，鉄道ジャーナル，439，p. 138.
- 6月 小野田滋：『鉄道構造物探見，トンネル，橋梁の見方・調べ方』，鉄道ジャーナル，440，p. 138.
- 7月 京福電気鉄道編・刊：『京福電気鉄道越前線写真帖—88年回顧録—』，鉄道ジャーナル，441，p. 154.
- 8月 岡田誠一：『国鉄暖房車のすべて』，鉄道ジャーナル，442，p. 138.
- 9月 島原琢：『鉄道事業経営研究試論—京王電鉄を中心として—』，鉄道ジャーナル，444，p. 138.
- 9月 『大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎のパノラマ地図』 (別冊「太陽」)，歴史地理学，45(4) (通号215)，pp. 27-28.
- 11月 三宅俊彦：『鉄道古写真帳』，鉄道ジャーナル，445，p. 138.
- 12月 宮田道一：『フリーテカイラストを描く!』，

鉄道ジャーナル，446，p. 142.

- 12月 奥野一生：『日本のテーマパーク研究』，新地理，51(3)，pp. 41-42.

文献解題

- 4月 鉄道図書20選 (吉川文夫・和久田康雄と分担執筆)，『年鑑2003 日本の鉄道』，鉄道ジャーナル社，pp. 119-123.

対談・座談会

- 6月 『SL復活物語』 (日本鉄道保存協会編)，JTB (マイロネBOOKS)，190p. (対談；走れトラストトレイン (米山淳一と)，pp. 34-45).

講演・シンポジウム記録

- 3月 現代の鉄道博物館像を考える，『交通博物館開館80周年記念講演会 パネルディスカッション記録集』 (交通博物館)，pp. 2-17，(2001年10月14日開催記念講演会の記録，37p.)，
- 9月 鉄道史研究と「鉄道省文書」，(第46回歴史地理学会公開講演〈会長講演〉要旨)，歴史地理学，45 (4) (通号215)，p. 34.

学会での発表記録

- 5月 旧日の丸自動車法勝寺鉄道 フ50号客車の調査と復元 (堤一郎と)，産業考古学会第27回総会研究発表講演論文集，pp. 1-4.

インタビュー

- 9月 『鉄道学のスズメ—8人の鉄道先生たち—』 (原口隆行著)，JTB (マイロネBOOKS)，191p. (インタビュー；鉄道歴史地理学，pp. 18-39).

報告書

- 3月 『水と翠のまち 西条の歴史遺産に関する調査』，日本ナショナルトラスト，128p. (分担執筆；鉄道資料館設立についての意見，pp. 112-113).

紙 碑

- 3月 佐藤甚次郎先生を悼む，新地理，50(4)，p. 61.

2004年

単 著

- 6月 『昭和29年夏 北海道私鉄めぐり(上)』(RM LIBRARY 58), ネコ・パブリッシング, 48p.
- 7月 『昭和29年夏 北海道私鉄めぐり(下)』(RM LIBRARY 59), ネコ・パブリッシング, 56p.

編著・共編著

- 5月 『軽便鉄道—昭和戦後を生きた小さな旅客鉄道回想—』(三宅俊彦と共編), 大正出版, 185p. (分担執筆; 日本の軽便鉄道序説—小さな鉄道が歩んだ124年の軌跡—, pp. 13-23).

分担執筆

- 1月 帝国書院編集部編: 『帝国書院の復刻地図集, 地図で見る昭和の動き—戦前, 占領下, 高度経済成長期—解説書』, 帝国書院, 111p. (分担執筆; ③日本の軍事とかつての植民地 (1. 日本をめぐる地政学と軍備, pp. 26-27, 2. 朝鮮半島, pp. 28-29, 3. 台湾, pp. 30-31, 4. 関東州・満州国, pp. 32-33, 6. 南洋諸島, pp. 36-37), ④鉱業の盛衰—地図で見る鉱業のうつり変り—, pp. 38-39, ⑩交通網の発達 (1. 地図で見る高速道路の整備, pp. 56-57, 2. 地図で見る航空路の発達, pp. 58-59, 3. 地図で見る新幹線と航路の発達, pp. 60-61), ⑮鉄道の变化—地図で見る鉄道網の発達—, pp. 76-83)
- 10月 杉本一正・名取紀之編: 『梅小路90年史』, 西日本旅客鉄道刊, ネコ・パブリッシング発売, 288p. (分担執筆; 近代化遺産としての梅小路蒸気機関車館, pp. 19-21).

監 修

- 7月 日本実業出版社編: 『東京の地下鉄がわかる事典』, 日本実業出版社, 350p. (分担執筆; 序章のうち, ところで「地下鉄」って何だろう?, pp. 19-22, 世界の地下鉄はどうなっているか, pp. 23-24, 日本で

地下鉄が走る都市, pp. 25-26, 第1章のうち, 東京最初の地下鉄計画, pp. 28-29, 第3章のうち, 地下鉄車両に共通する特徴, pp. 142-143, 東京地下鉄道1000形, pp. 144-147, 営団地下鉄300形, p. 148-150, アルミ車・ステンレス車の導入が早かった理由, pp. 151-153, チョップ制御とVVVFインバータ制御, pp. 155-157, 第4章のうち, ホームドアのしくみ, pp. 237-239, 第7章のうち, 東京の地形と地下鉄建設, p. 310).

論説・研究ノート

- 8月 21世紀の地方交通線問題を考える, 鉄道ジャーナル, 454, pp. 48-55.
- 9月 鉄道史研究と『鉄道省文書』, 歴史地理学, 46(4) (通号220), pp. 1-19.
- 12月 鉄道史研究と『鉄道省文書』, 補遺, 歴史地理学, 46(5) (通号221), p. 40.

エッセイ

- 3月 路面電車—その過去・現在・未来, 地図情報, 23(4) (通巻88), pp. 2-3.
- 3月25日 自主ゼミナールの喜び, 駿河台大学 NEWS, 91, p. 3.

資 料

- 8月 最近開通した鉄道新線(1990年以降)一覧, 地理, 49(8), pp. 18-23.
- 12月 青木栄一所蔵 鉄道史関連雑誌論文目録, 文化情報学, 11(2), pp. 7-47.
- 12月 青木栄一教授の略歴, および青木栄一著作目録(1996~2004年), 文化情報学, 11(2), pp. 95-112.

書 評

- 1月 巴川享則・三宅俊彦・塚本雅啓: 『タイムスリップ中央線』, 鉄道ジャーナル, 447, p. 154.
- 2月 吉川文夫: 『路面電車の技術と歩み』, 鉄道ジャーナル, 448, p. 142.
- 3月 三木理史: 『水の都と都市交通—大阪の20世紀—』, 鉄道ジャーナル, 449, p. 142.
- 4月 福原俊一: 『ビジネス特急〈こだま〉を走

- らせた男たち』, 鉄道ジャーナル, 450, p. 152.
- 5月 宮田道一:『草軽のどかな日々』, および, 安保彰夫:『赤穂鉄道の発掘』, 鉄道ジャーナル, 451, p. 141.
- 6月 広田尚敬:『電車の写真集』, 鉄道ジャーナル, 452, p. 137.
- 6月 三宅俊彦:『東北・常磐線120年の歩み』, 鉄道ジャーナル, 452, p. 137.
- 8月 西野保行:『鉄道の情景The Railway Scene 1953~2002』, 鉄道ジャーナル, 454, p. 141.
- 9月 ポール・ランディ (小杉泰監訳):『イスラーム—この1冊でイスラームのすべてが見える—』, 新地理, 52(2), pp. 47-49.
- 10月 東京文化財研究所監修:『鉄道の保存と修復I—未来につなぐ人類の技③—』, 鉄道ジャーナル, 456, p. 141.
- 11月 佐藤芳彦:『空港と鉄道—アクセスの向上をめざして—』, 鉄道ジャーナル, 457, p. 141.
- 12月 斎藤毅:『続世界・切手国めぐり』, 新地理, 52(3), pp.34-35.

文献解題

- 4月 鉄道図書20選 (和久田康雄と分担執筆), 『年鑑2004 日本の鉄道』, 鉄道ジャーナル社, pp. 119-123.
- 12月 大阪鉄道局編:『鉄道用語辞典』(復刻版), 成山堂書店, 解題, pp. 1-5.

学会での発表記録

- 11月 大学における「産業考古学」講義への模索, 産業考古学会2004年度全国大会(加悦) 研究発表講演論文集, pp. 13-16.

インタビュー

- 8月 鉄道の新線開通を考える—青木栄一先生に聞く—, 地理, 49(8), pp. 43-56.

その他

- 6月 「第28回総会・研究会を終えて, 産業考古学, 112, p. 24.
- 9月 戦艦「三笠」は産業遺産としての価値はないのか—「総合見学会報告」(『産業考古学』112号, 大橋公雄氏)への疑問—, 産業考古学, 113, pp. 17-18.
- 12月 ちょっと質問11 路面電車は, なぜ見直されているのですか? 回答, 地理, 49(12), pp. 13-15.